

神戸市外国語大学 学術情報リポジトリ

An adaptation of "A historical grammar of modern Chinese (『中国語歴史文法』)": an endeavor to reorganize into dynastic history

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2001-12-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 佐藤, 晴彦, Sato, Haruhiko メールアドレス: 所属:
URL	https://kobe-cufs.repo.nii.ac.jp/records/1388

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



『中国語歴史文法』解体

——断代史改編への試み——

佐藤晴彦

はじめに

太田辰夫博士の名著『中国語歴史文法』が世に問われてたのは1958年のこと。今年ではや43年の月日が流れてしまった。その間、中国や日本を中心としてこの領域の研究は、過去の一時期に較べると比較にならないほどの進展をとげてきたことは間違いない。例えば辞典類一つをとってみても文化大革命以後いち早く出版された龍潜庵『宋元語言詞典』、90年代後半に出版された断代史的辞典シリーズ『唐五代語言詞典』『宋語言詞典』『元語言詞典』、古今の虚詞を時代ごとに通覧できるよう編集された『古今漢語虚詞大辞典』、さらには『近代漢語詞典』、また、恐らく近世語の語彙の収録数でも群を抜くであろう『漢語大詞典』など、辞典類が完備されてきたのは、過去のどの時期よりも充実してきている。

しかし、こうした近世語研究の進展にも拘わらず、こと文法という観点に立った時、そのスケールの大きさという点からいっても、また体系性という点からいっても、『中国語歴史文法』（以下『歴史文法』と略称する）を乗り越えるものはむろんのこと、『歴史文法』に匹敵するほどの著作がまだ出ていないというのも事実である。

筆者はもとよりそうした成果をあげる任務に堪えうるものであるとは考えていなかったのですが、誰か『歴史文法』に匹敵するような研究成果を出してくれないかと期待して待っていたのであるが、今日に至るもそうした成果はま

だ出ていない。このままでいくと『歴史文法』出版45周年、50周年という記念的な時期は瞬く間にきてしまうのは目に見えている。それでも何にも成果を出せないというのは、その領域に身を置いているものとして、どうしても忍びがたい。そこで自分がその任にはないことを十分承知のうえで何かしなければという気持ちが日に日に益してきた。何か着手しなければならない。では何ができるのだろうか。

たとえば『歴史文法』の部分的な過ちを訂正することくらいはできるにしても、あれを根本的にやりかえる、根底から編集しなおすというのは筆者が見るところではまず不可能である。かといって同じもの、あるいは似たようなものを編集してもそんなに価値がるとも思えない。ではどうするか？

それは『歴史文法』が現代語から出発し、現代語を体系づけたうえでその重要な文法語彙の歴史的来源をさぐり、その発展を跡づけたという点では、まさに画期的業績だったのであり、その業績の輝かしさは恐らく永遠に消えることはないであろう。『歴史文法』が現代語を出発点としていることは、扱う語がすべて現代語につながってくるのであって、扱う語が歴史のなかで消えていってしまうということは決して起こり得ない。かりに王力の『漢語史考』と比較すれば、その違いは一目瞭然である。

しかし今度は中国語の通史という観点から見ると、また違った見方ができるはずである。通史という観点から見た場合、『歴史文法』の利点であった、必ず現代語に関係づけられるということを裏返せば、歴史の流れのなかで消えていった用法及び文法語彙が、すべて扱えないということになるのである。つまり例えば唐代なら唐代、宋代なら宋代、元代なら元代というように、それぞれの時期に特有の文法語彙や用法が、現代語に直結しないがゆえに抹消されてしまうのである。こうしたものを掬っていくにはどうすればいいのか？一旦『歴史文法』を解体し、通史という観点からもう一度再編する必要があるのではないか？そうした通史を描いてこそ、現代語に直結する記述と通史という記述が揃い、初めて「歴史文法」ということになるのではないか？筆

者はそう考えた。

むろん太田辰夫博士にもう一つ重要な業績として『中国語史通考』があり、書名通り通史を目指したものである。しかもこれまで書いてこられた論文やテーマを、時代順に配列すれば通史ができるというのは、凡人には到底真似のできるのではなく、その人並みはずれたスケールにはほとんど感心するばかりである。しかし考えてみれば、該書の「1. 上古漢語略説」「2. 中古語法概説」は通史というにふさわしいが、それ以外は資料別の各論であって、中国語断代史としての通史とは言い難い。従って少なくとも、「2. 中古漢語概説」以降の通史を記述する必要があると思われる。

小論は以上のような考えから出発し、中国語の断代史を記述するための下準備として、『歴史文法』で論ぜられていることを各品詞ごと、時代別に整理しなおして一覧表に組み替え、『歴史文法』の枠組みが一目でわかるようにしようとするものである。

小論での略号

易：周易　書：尚書　毛：毛詩　禮：禮記　檀：檀弓篇
中：中庸　左：春秋左氏傳　論：論語　孟：孟子　史：史記
後：後漢書　洛：洛陽伽藍記　國：國語　戰：戰國策
吳：吳越春秋　韓：韓非子　墨：墨子　淮：淮南子　莊：莊子
世：世說新語　旌：旌異記　古詩：古詩十九首　木蘭：木蘭詩
冥：冥祥記　成經：成具光明定意經　中太：中太起經　太：太子
端應本起經　僧：僧祇律　賢經：賢愚經　雜經：雜寶藏經
樂：樂府詩集　仙：仙傳拾遺　啓：啓顏錄　北齊：北齊書
嘉：劉賓客嘉話錄　盧：盧氏雜説　西：西陽雜俎　遊：遊仙窟
任：任氏傳　原：原化記　周：周秦行記　詩：唐詩
目變：目蓮變文　降變：降魔變文　歷法：歷代法寶記
法變：法華經變文　祖：祖堂集　詞：宋詞　三朝：三朝北盟會編

象：象山語録　朱：朱子語類　癸：癸辛雜識　劉：劉知遠諸宮調
宣：大宋宣和遺事　清：清平山堂話本　警：警世通言　元刊：元
刊雜劇三十種　三平：三國志平話　前平：：前漢書平話
曲：元曲　朴：朴通事諺解　古：古今小説　金：金瓶梅詞話
綴：綴白裘　磨：磨難曲　儒：儒林外史　紅：紅樓夢
滿成：滿漢成語對待　鏡：鏡花緣　品：品花寶鑑
兒：兒女英雄傳　三五：三俠五義　庸：庸言知旨
正撮：正音撮要

なお表中□で囲んだ語は筆者が加えたものであるが、まだ不完全であり、
今後の検討を要する。

「中国語歴史文法」時代別一覽表

	魏 晋 以 前	南 北 朝	唐 代
名詞 重複 AA (79) (1)逐指 (2)漸層 (4)普通名詞 (3)親族称呼 AABB (82) 逐指	人人 [孟]; 旦旦 [孟] 家日損 [墨]; 日益刻深 [史] 燕燕 [毛]; 猩猩 [禮]		日日衣寬 [遊]; 老力步步微 [詩] 蘭蘭 [詩] 兄兄 [北齊]; 孃孃 [變]
接頭辞 阿 (84) 親族称呼 排行 代名詞 老 (85) 姓名 称呼 動物 接尾辞 子 (86) 人間 もの 動物 器具 大きな物 動+~ 形+~ 頭 (88) 方位 名+~ 物体+~ 形+~ 動+~ 兒 (89) 動物 普通名詞 邊 (94) 家 (92) 下 (93) 上 (ノ) 巴 (92) 下裏 (94) 兒 (91) 日→兒 (90) 兒化韻 (92) 裏下裏 (94) 裏下 (ノ)	阿婆 [樂]; 阿妹 [古詩] 阿大 [晉書]; 阿三 [隋書] 阿誰 [三國]; 阿儂 [洛] ~石 [北史] ~兄 [世] ~鼠 婢~ [左]; 男~ [戰] 妻~ [韓]; 女~ [史] 眸~ [孟]; 瞳~ [史] 猫~ [雜經]; 蟻~ [賢經] 刀~ [冥]; 塙~ 松樹~ [世] 上~ [漢詩]; 前~; 後~	(宅邊 (陶潜))	多用 ~元 [詩] ~師 [詩] ~鴉 [詩] あらゆる名詞の接尾辞 車~; 船~; 亭~ 拂~; 托~; 注~; 倚~ 傻~; 瘋~; 瞎~ 下~; 外~; 裏~ (唐五代) 心~; 街~; 角~ 石~; 枕~; 日~ 骨~; 指~; 舌~; 鼻頭; 木頭 蜂~; 蛾~ 箱~; 巢~; 衫~ (稀少) 傍~; 外~; 東~... 弟子~; 魔~; 別人~ 底~ 地~ (唐五代)

宋 代	元 代	明 代	清 代 前 期	清 代 後 期
燕燕[詞]	波波[曲]			
樸實～ [朱] 脣～ [宋詩]; 小車～ [宋詩] 鼓～; 板～; 鑼～ 庵～; 山亭～; 寶塔～ 早～ [朱]; 心～ [朱] 尾～ 兩下 [清]; 四下 [清]	意～ [曲] 兩～; [曲] 爺～, 娘～	～虎 [金] 晚～ 已～: 尾靶	老實～ [紅] 說～兒 [々] 姑娘～ [紅]; 小孩子～ [紅] 嘴～ [紅]; 唾～ [紅] 哥～; 姐～, 主～ 今～: 明～ 今日個 (キウルカ) (至晚是清初)	聽～兒 [兒] 結～ [鏡]; 力～ [兒] 南北～ [兒]; 東西～ [兒] 高～ [兒] ?

	魏 晉 以 前	南 北 朝	唐 代
<p>助名詞</p> <p>～裏 (95)</p> <p>～樣 (〃)</p> <p>～般 (〃)</p> <p>～來 (〃)</p>	<p>家～；窗戶～ (魏晉)</p>		<p>(錦～；花～ [原義])</p> <p>(死一般 [詩]；高下一般 [詩])</p>
<p>代名詞</p> <p>他 (99)</p> <p>渠 (101)←其</p> <p>伊 (〃)</p> <p>咱們 (包括形)</p> <p>咱 (110)</p> <p>咱 (112)</p> <p>您 (107)</p> <p>俺 (112)</p> <p>旁 (傍)人 (115)</p> <p>別人 (〃)</p> <p>大家 (116)</p> <p>自己 (113)</p> <p>人家 (116)</p> <p>別人家 (115)</p> <p>各自 (114)</p> <p>各人 (〃)</p> <p>自個兒 (〃)</p> <p>大夥兒 (116)</p> <p>自己個兒 (115)</p> <p>大家夥兒 (117)</p> <p>主觀的複數 (〃)</p> <p>我們 (=我)</p> <p>俺們 (=我)</p> <p>我們 (=你)</p> <p>俺們 (=你)</p> <p>三人稱助動詞化 (118)</p> <p>管他</p> <p>他+數·賓</p> <p>給他個</p> <p>奪取動詞</p>	<p>渠會永無緣 [古詩]</p> <p>伊必能克蜀 [世]</p> <p>傍人解構之言 [後]</p> <p>(亦各自坐他罪 [史])</p>		<p>他亦甚快活 [酉]</p> <p>性命昔在他手 [原]</p> <p>玉兒不擬負他 [周]</p> <p>栩栩無因繫得他 [詩]</p> <p>自家 (唐代)→咱 (宋代)</p> <p>情懷似別人 [詩]</p> <p>茱萸酒法大家同 [〃]</p> <p>自己尚似怨家 [祖]</p> <p>魔魅人家男女去在 [〃]</p> <p>(自家)</p> <p>白眼看他世上人 [詩]</p>

宋 代	元 代	明代	清 代 前 期	清 代 後 期
斗~ [宋詩]; 玉~ [宋詩] 鏡~ [詞]; 酒~ [宋詩] 盆~ [宋詩]				
咱門祖上 [癸] 咱每; 咱門→咱 咱從今後 [元刊] 咎墳園 [々] 你瀆; 你門 [三朝] →交您歸去 [劉] 恁瀆不肯 [三朝] 我瀆; 我門 [三朝] 俺 [詞]	俺道人每… 不用他 [曲] 咱門 [三平]	咱們 偌		你; 你寧; 寧
一人称	別人家養女兒孝順 [曲]	三人称	這是爺各自買的 [紅] 叫他各人去罷 [々] 我自家(ka?)去 [々] 大夥兒說情 [々] 我們也不敢說 [紅]	自己個(各)兒 [兒] 也是大家夥兒分 [三五] 而單單的找咱們 (民国) 我們絕不可以還手 (々) 偌們可不是… (々)
知他故宮何處 [詞]	調戲他一番 [曲] 我一發吃他幾杯 [曲] 落他些 [曲]		要他二兩原枝來 [紅]	管他, 橫豎我是… [兒] 再叫上他幾個泥水匠 [々] …改他三百六十行 (民国) 給他個混吧 (々)

	南北朝以前	南北朝	唐代
指示指示代名詞 這 (121) 這箇 (122) 這裏 (ノ) 這邊 (ノ) 這些 (ノ) 這哈兒 (123) 這早晚 (ノ) 這會兒 (ノ) 這塊兒 (ノ) [這咱] 這些箇 (122) 這會子 (123)		(之?)	這 [者, 緒] (晚唐自立語) 這箇 (自立語) 這裏 (唐末) 這邊 (唐末)
那 (123) 那箇 (124) 那裏 (ノ) 那邊 (ノ) 那些 (ノ) 那些箇 (ノ) 那哈兒 (125) 那早晚 (ノ) [那咱] [那塊兒] 那會子 (125) 那會兒 (ノ)		(爾)	那 (非自立語) 那箇人 [祖] 那裏 [詩] 那邊 [盧]
哪 (125) 哪箇 (126) 哪裏 (ノ) 哪邊 (127) 哪些 (126) 多早晚 (128) 多嚙 (ノ) [哪塊兒] [哪些箇] 多會兒 (129)	諸妹那來 [中太] 當那求之 [太]		那 (非自立語) 那箇 (自立語) 那裏 [祖] 那邊 [法變]
方向 (129) 這麼, 那麼 哪麼			
連代句 (129, 130) A動B動 (你 我) A動B, B動A A動A的 A動B動 (你 我) ノ (他 我) A動B動 (這 那)			
代名詞の倒置 疑問文 (130) 否定文 (131)	吾誰欺 [論] 不我告 [莊]		大家嗔怨誰也 (現代語同) 不遐棄我 (ノ)

宋 代	元 代	明 代	清代前期	清代後期
這，遮（自立語） 這些（修飾語） 這下 [朱] 這些箇？ [朱]	這些（自立語） [曲] 這早晚 [曲] 這會兒（時間） [曲]	這會兒（處所） 這塊兒 這咱	這會兒 這些箇 這會子	這裏→這兒 這塊兒
那（自立語） 那些（非自立語？） 那下 [朱]	那些（自立語） 那些箇 [曲] 那早晚 [曲]	那會兒（處所） 那咱 [金] 那塊兒？ [々]	那會子 [紅]	那裏→那兒 [庸] 那塊兒？ 那會兒（時間）
	那些兒 [曲] 多早晚 [曲]	多咱；多僭 那塊兒 [金] 那些箇？ [々]	那些 [紅]	那（自立語） 那裏→那兒 那些兒 [兒] 多會兒 [品]
				往這麼來的 [兒]
		你一言我一句 [金] 你推我我打你 [々]	我死我的 [紅] 你說你的 [々] 你讓我讓的 [々] 他也來遲了 我也來遲了 [紅]	這個一拳那個一拳 [兒]

	魏 晋 以 前	南 北 朝	唐 代
数詞 基数 一 (133) 兩 (134) 零 (136) 倆, 仨 (138) 停 (139)	是生兩儀 [易] (一揃い) 聖人無兩心 [荀]		ほぼ現代語の用法 三停(=1/3)
不定数 (1)一二, 二三… 一兩 (140) 兩三 (〃) (2)三二 (140) (3)三五 (141) 五七 (〃) (4)五三 (〃) (5)百千 (142) 千萬 (〃) (6)百十 (〃) 千百 (〃) 些 (143) 一些 (144) 好幾 (143) 好些 (143) 好些個 (〃) 數 (146) 點兒 (145) 來 (147) 幾 (146) 多 (147) 一半(143) 左右 → ナシ 疑問数詞 多少 (148) 序数 第 (148) 頭 (149)	史記 年始十八九 史記 〃 或四三年 [書]; 三二 [史] 三五在東 [毛] 餘處止五三年耳 [冥] 後車數十乘 [孟] (穀食多少 [賢經]) (多いか少ないか)		霜竹百千竿 [詩] 千萬斧刀痕 [〃] 我見百十狗 [〃] 時輩千百人 [〃] 獨賞些些春 [〃] 遙將一點淚 [詩] 可受二斗以來 [仙] 可受三升已來 [遊] 八百來人 [祖] 寥落東方幾片雲 [詩] 不定数用法少なし 本寺住來多少年 [詩] 上棚先謝得頭籌 [詩]

宋 代	元 代	明 代	清 代 前 期	清代後期
六百單一 [朱]	一十八歲 [曲] 便百二十聲嚕也說 [々] 二百單五年 [三平] 一千丹八 [宣] 三十六丈零七尺 [曲] 三年零六箇月 [々]	一百零六兩 [金] 三停只報二停 [金] (=2/3)	六百零十兩 [紅] 只有俺彌沒有彌 [磨] 十停方有了三停 [紅] (=3/10)	倆, 撒 [兒]
五七人 [三朝]				兩三千 [兒] 二三千 [々] (兩三十?) (兩三百?)
不會添一些 [象]	好幾箇人 [曲] 好幾十兩銀子 [々]	好些小令兒 [金]	好些個 (新しい) 千數兩銀子 [紅] 一點影兒都沒有 [紅] 一點兒不知道 [々] 找點子什麼喫了 [々]	
一點子明 [朱]	千數丫鬢 [曲] 一點消息 [々]	沒點兒相交 [金]		
左に同じ	一百十多斤的猪 [曲]		幾十兩銀子 [紅]	
使其得六十左右 [朱]	寅時左右 [前平]		一半天 [紅]	一半句 [兒]
		頭一件 [金]		

	魏 晉 以 前	南 北 朝	唐 代
重複形式 AA型 (149) AABB型	好一一聽之 [韓]		六六三十六 [祖] 兩兩三三
連鎖句 A式(150) B式(151)			一日不作一日不食 [祖]
量詞 名量詞 計量 長さ 庾 (153) 指 (〃) 掬 (〃) 箭 (〃) 広さ 响 (153) かさ 箆, 瓢 杯, 車 壺 (154) 篋 (〃) 束 (〃) 抔 (〃) 撮 (〃) 把 (〃〃) 堆 (〃) 捧 (153) 口 (154) 計数 (155) A名+数+名 B名+数+量 C数+量+名 集体 (158) 純粹: 一雙鞋 転用: 一屋子人 動量詞 (159) 純粹: 回, 次など 転用: 打一槌 一A就B 重複形式 (161) AA 一AA 一A一A 接尾辞 +兒 (162) AA兒 (163)	一箆食, 一瓢飲 [論] 一杯水救一車薪之火 [孟] 二壺酒 [國] 與一篋綿 [左] 與一束薪 [莊] 一抔土 [史] 一撮土之多 [中] 革車千乘 [史] 卷卷有爺名 [木蘭]	杜將一把穀來崔前 [啓] 養數匹馬 [世] 驅八頭牛 [僧] 一羣白頸烏 [世] 繞樹三匝 一顆一顆 [啓]	砌下梨花一堆雪 [詩] 臣罵漢王三五口 [變] 一到人天便作師 [詩] 箇箇 一人人

宋 代	元 代	明 代	清代前期	清代後期
燒甚麼木則是甚麼氣 [朱]	是誰就拿誰 [曲]	使多少交多少 [金] 有恁施主有恁和尚 [々]		見兩個，殺一雙 [兒]
	這的幾托 [朴] 二指闊的紙提條 [曲]	恰半掬 [金]	倭緞三十二度 [紅]	隔不到一箭遠 [品] 叫作一晌 [兒]
三年一次科舉 [象]	一捧兒米 [朴] 一口湯 [曲]		看親戚一趟 [紅]	
一年一年老去 [詞]	見了這兩樁兒 [曲] 遇着三個兒 [々] 樁樁兒 [々] 輩輩兒 [々]			

	魏 晉 以 前	南 北 朝	唐 代
形容詞 重複形式 (164) AA (164) ABB (165) AABB (々) A裏AB (166) 助形詞 (167) ~得多 (167) ~多着呢 (168) ~得很 (168) ~得慌 (々) ~不過 (170) ~了去了 (169) ~多了 (167) ~極了 (171)	青青子衿 [毛] 穆眇眇 [楚]		後漢~唐五代增加 窄窄狹狹 [詩]
比較句 (171) 平比 (172) + 同動詞 - 同動詞 絶對的差比 (173) 相對的差比 (174) A式：A-形-介-B <於>を用いる <過>を用いる <如>を用いる <似>を用いる + 副詞 + 補語 B式：A-介-B-形 + 補語 + 副詞	脣像朱火明 [成經]	開孔如井大 [旌]	金印酬功如斗大 [詩] 任是深山更深處 [詩] (唐五代頃まで) 老過榮公六七年 [詩] 雖然詩膽大如斗 [々] 新詩高似雲 [々] 其蹤稍大如馬 [嘉] 貧於揚子兩三倍 [詩] 色比瓊漿猶嫩 [詩]
絶對的極比 (176) 最 (177) 頂 (々) 尤 (々) + 比 尤其 (177) + 比	士卒最下者 [史] 而尤善律曆 [史]		
相對的極比 (178) 限定式 非限定式	諸子中，勝最賢 [史]		
漸層表現 (178) 絶對的漸層 益，愈，彌 (古代) (179) 轉 (中世) (々) 越，越發，一發 (近世) (々)	如水益深 [孟] 羌寇轉盛 [後]		

宋 代	元 代	明 代	清代前期	清代後期
	頻用 [曲] 高的多 [曲] 差得多 [〃] 強多着哩;少多哩 [〃] 惱的很哩 [〃] 稀 打的慌 [〃] 打攪的慌 [〃] 受不過 [〃] 冷不過 [〃]	諛得慌 [金] 冰的人慌 [〃] 好了去了 [金]	糊裏糊塗 [滿成] 臘離臘場 [綴] 強多着呢 [紅] 多用 聰明不過 [紅] 乖巧不過 [〃] 大多了 [紅] 窮極了 [〃] 好極 [〃]	強得多 [品] 高明不過 [兒] 太多了去了 [正撮] 省事多了 [兒]
如何似鐵恁地硬 [朱]	比咱們這裏一般嚴 [老]	燈草一樣脆 [金]		
更比秋花冷淡些 [詞]	比那神仙多幾歲 [曲] 比刀子還快哩 [〃]		你比我更傻 [紅]	
圓圖說得頂好 [朱]		比娼妓尤甚 [金]	尤其綠得可愛 [儒]	頂好的有兩個 [品] 比地方官尤其難作 [兒]
已曉得者越有滋味 [朱]	越發老的糊突了 [曲] 一發不好 [曲]		比是人都大呢 [紅]	疑問代詞は新しい

	魏 晉 以 前	南 北 朝	唐 代
比例的漸層 愈, 逾 (古代) (179) 越 (近世) (〃) 越來越 (現代) (180) 時間を表す語を使う +益 (180) +以, 已 (〃) 日+ad+一日 (〃) +似 (181) +比 (〃)	愈數而迹愈多 [莊] 家日損 [墨] 日益刻深 [史] 日以親貴 [〃] 相去日以遠 [古詩] 日慎一日 [淮]		一日長一日 [詩]
動詞 接辭 打 (182) ~子 (耍子) (〃) ~兒 (玩兒) (〃) ~見 (聞見) (183) 重複形式 A A (反復, 持續) (184) A-A (短時態) (185) ⇒A A (〃) (〃) A-A兒 (〃) A A兒 (186) A B A B (短時態) (187) 同動詞 一致 是 (188) 類似 猶 (191) 由 (〃) 若 (〃) 如 (〃) 似 (192) 類 (〃) 髣髴 (193) 如同 (〃) 似乎 (〃) 像 (192) 好像 (〃) 像...也似的 (193) 如同...相似 (194) 像...一般 (193) 像...一樣 (〃) 好像...是的 (〃) 如同...一樣 (194) 認定 算 (194) 補動詞 可能 可以 (196) 能 (195) 能夠 (〃) 能以 (〃) 會 (〃) (後天的技能) (自然的發生) 得 de (196) 得 dei 必要, 命令 (197) 必然 (〃) 須得 (〃) 必得 (〃) 總得 (〃)	采采卷耳 [毛] 文猶質也 [論] 由水之就下 [孟] 肌膚若冰雪 [莊] 如好色者也 [論] 壹似重有憂者 [禮] 類有大憂 [國] (唇像朱火明 [成經])		打睡 [祖] 我於彼聽見 (近則近 [祖]) (是則不 [〃]) 髣髴會相誠 [詩] 如同萬里餘 [〃] 可以假用 [任] 止坐還會摩 [祖] (わかる) (不得相讓 [後]) 陛下只得敬法重人 [歷法] 亦得魂驚膽破 [目變] 須得對面試練 [降變]

宋 代	元 代	明 代	清代前期	清代後期
越看越不出 [朱]	可怎生越洗越真了 [曲]			極めて新しい
一日長進似一日 [朱]	一日重似一日 [曲]		一日好似一日	一天比一天
試定精神看一看	且與你…… 耍子 [曲] 這等哭哭到幾時 [曲] 在這裏坐坐…… [曲] 你與我告一告兒 [〃]	聞了一聞 (恣意) [金] 你救我救兒 [金] 你每…候 候兒 [〃] 與我同背同 背 好是好 [古]	只會玩兒 [紅] 只聞見一股幽香 [〃] 默是不默的了 [儒]	
似乎割據了兩川 [朱]	這一個像是好的 [曲] 好像俺哥哥張林 [〃] 像個賊也似的 [〃] 如同涅槃相以 [〃]		倒像拌嘴是的 [紅] 像…一般 [紅] 像…一樣 [〃] 好像…是的 [〃] 如同…一樣 [〃] 就算你比世人好 [紅]	
要三個也不能勾 [警]	可以着他親自當軍去 [曲] 我何日能勾相見也 [曲]		奶奶可以主張了 [紅] 誰能以補呢 [紅] 出力德用的人 [紅] 必得我親身取去 [紅]	怎麼能 (可能性?) 你能總得還個價兒 [品]
止會文章不會武藝 (動詞) ⇒生來不會說脫空 (補動) 天地會壞否 [朱]				